



NISSHA

2022年12月期 第2四半期 決算説明会

2022年8月8日

NISSHA株式会社

代表取締役社長 兼 最高経営責任者

鈴木順也

本日のポイント

2022年12月期 第2四半期累計（H1）の実績

- Tailwinds
 - 産業資材、メディカルテクノロジーの製品需要が堅調
 - 産業資材の蒸着紙：製品値上げが進捗
 - デバイス：需要の平準化により利益体質が改善
- Headwinds
 - コスト上昇（原材料費、人件費、エネルギーコスト）が継続
 - 供給制約による需要の変動・後ろ倒し

2022年12月期の見通し

- 通期業績予想を上方修正
 - 売上高 1,900億円、営業利益 145億円、税引前利益 175億円、親会社の所有者に帰属する当期利益 135億円
 - H2の需要動向、販売価格を見直し：H2売上高は主要3事業すべてで上方修正
 - H2想定為替レート：¥125/\$

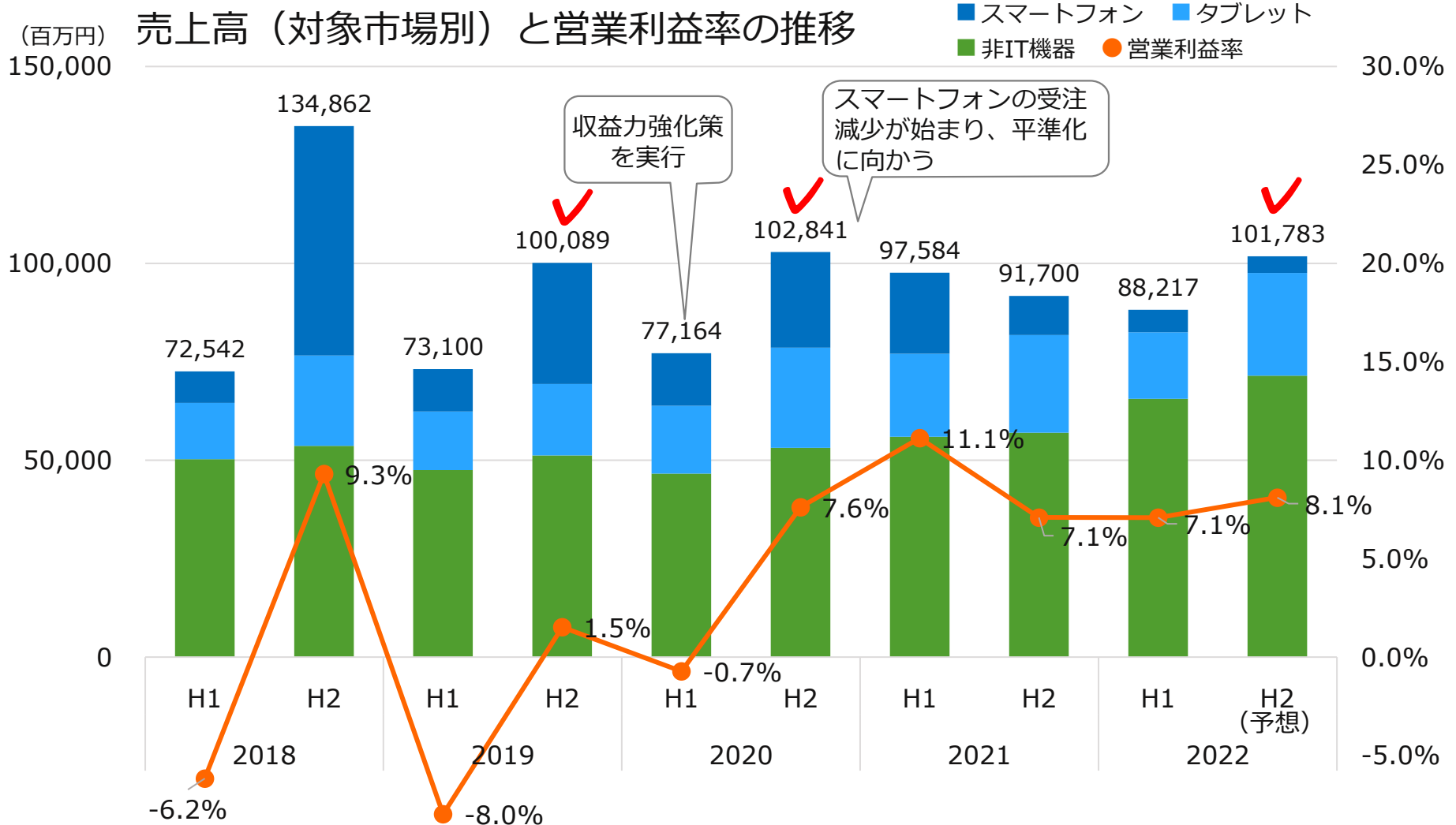
2022/12期 H1（6カ月）の実績

- 産業資材とメディカルテクノロジーが伸長

(百万円)

	FY2021 H1 実績	FY2022 H1 前回予想	FY2022 H1 実績	前年同期比 (FY2021 H1比)	
				前年同期比 (FY2021 H1比)	前回予想比
売上高	97,584	86,400	88,217	▲9.6%	+2.1%
産業資材	29,885	32,700	36,169	✓+21.0%	+10.6%
デバイス	52,516	36,100	33,590	▲36.0%	▲7.0%
メディカルテクノロジー	11,510	13,700	14,610	✓+26.9%	+6.6%
その他	3,672	3,900	3,846	+4.7%	▲1.4%
営業利益	10,857	5,400	6,267	▲42.3%	+16.1%
営業利益率	11.1%	6.3%	7.1%	-4.0pt	+0.8pt
税引前利益	12,238	6,500	9,549	▲22.0%	+46.9%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	10,614	5,200	7,903	▲25.5%	+52.0%
為替レート	¥106/\$	¥113/\$	¥118/\$		

スマートフォン減少による需要の平準化と 非IT機器の伸長により収益性が安定基調に



※2019年までは日本基準、2020年以降IFRS

2022/12期 Q2（3カ月）の実績

- 堅調な製品需要、製品値上げにより前四半期比（2022Q1比）で増収増益

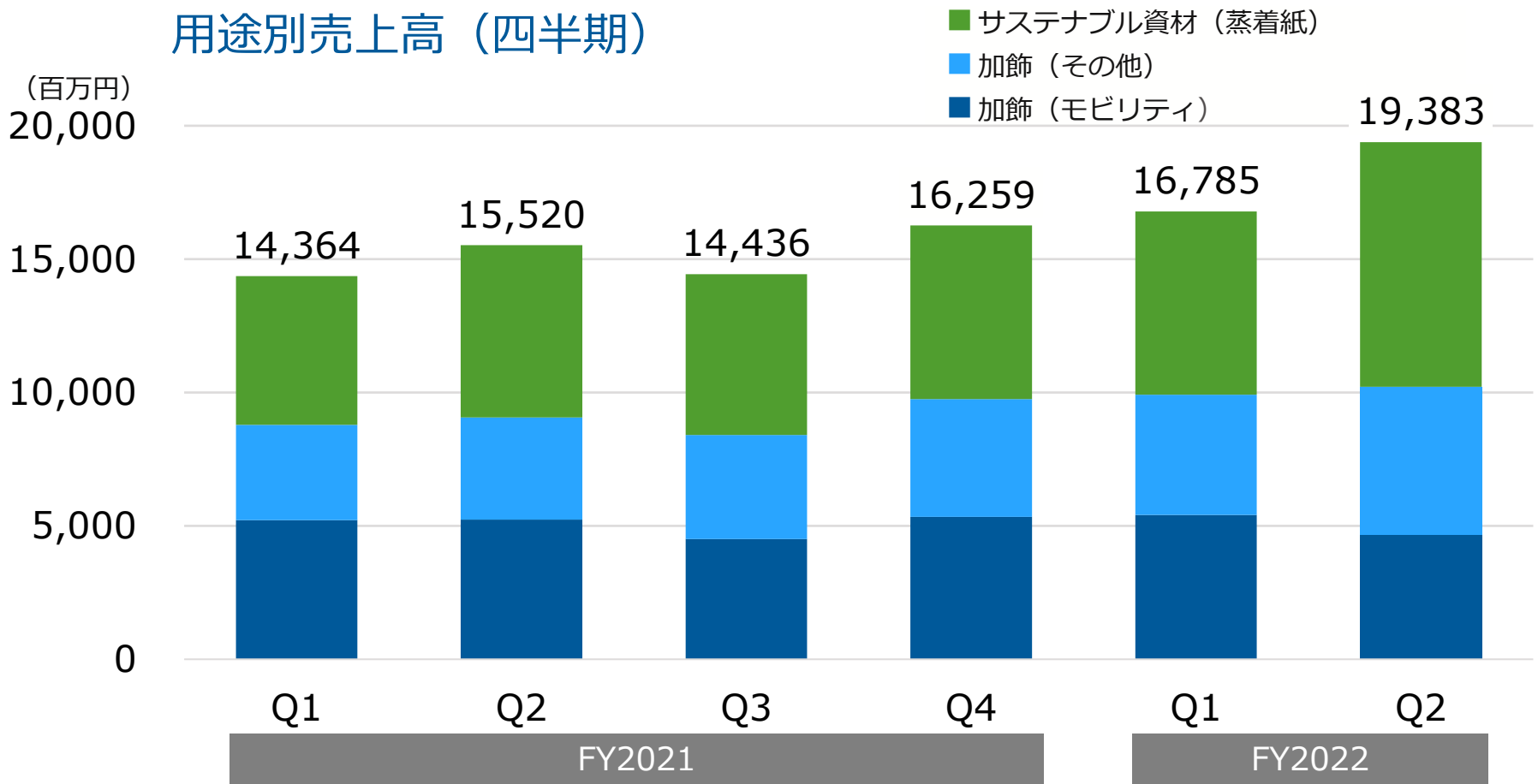
(百万円)

	FY2021 Q2 実績	FY2022 Q1 実績	FY2022 Q2 実績	前年同期比 (FY2021 Q2比)	前四半期比 (FY2022 Q1比)
売上高	50,444	41,412	46,804	▲7.2%	✓+13.0%
産業資材	15,520	16,785	19,383	+24.9%	+15.5%
デバイス	27,001	15,946	17,644	▲34.7%	+10.6%
メディカルテクノロジー	6,098	6,685	7,924	+29.9%	+18.5%
その他	1,824	1,994	1,851	+1.5%	▲7.2%
営業利益	5,542	2,494	3,773	▲31.9%	✓+51.3%
営業利益率	11.0%	6.0%	8.1%	-2.9pt	+2.1pt
税引前利益	6,028	3,565	5,984	▲0.7%	+67.9%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	5,181	3,280	4,622	▲10.8%	+40.9%
為替レート	¥108/\$	¥113/\$	¥123/\$		

産業資材

- 加飾：家電向けの製品需要が堅調、モビリティは供給制約の影響で製品需要がQ2減少
- サステナブル資材（蒸着紙）：製品値上げが進行、需要も堅調

用途別売上高（四半期）

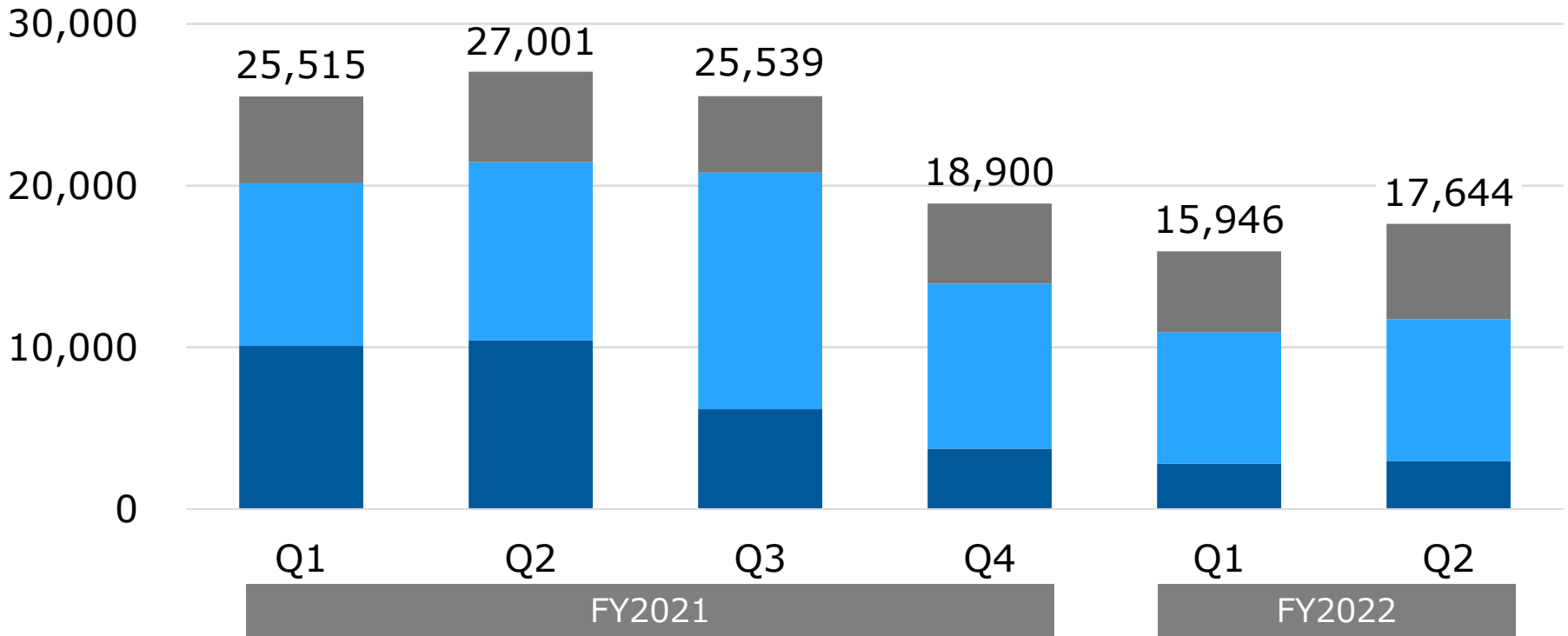


デバイス

- タブレット向けの製品需要は供給制約の影響で横ばい（H2需要復調）
- 産業用端末向けの製品需要が堅調

用途別売上高（四半期）

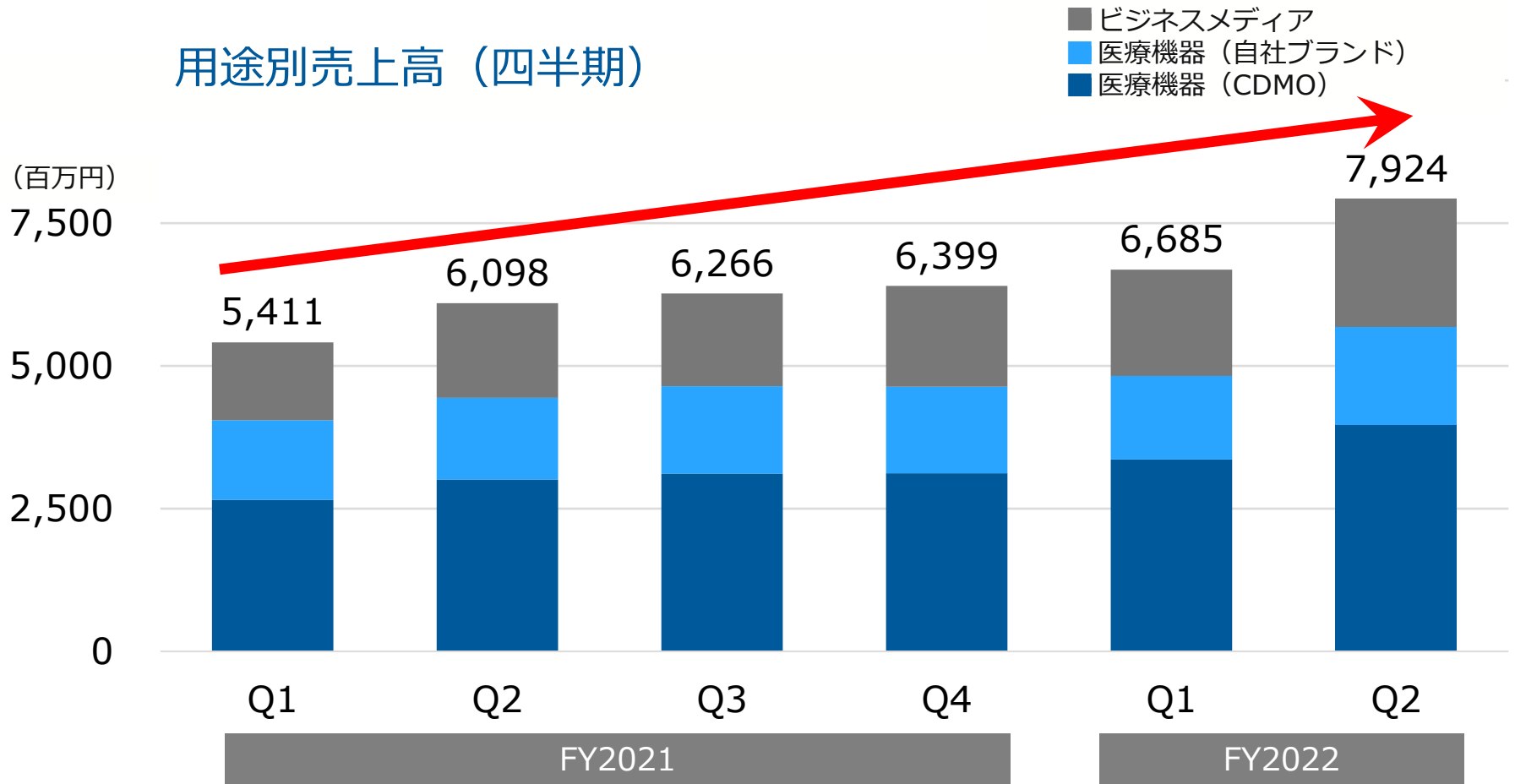
（百万円）










メディカルテクノロジー

- 医療機器CDMOを中心に需要は堅調
- 原材料費、人件費、輸送費高騰の影響が収益性を圧迫
- 製品値上げと生産性の改善を継続

用途別売上高（四半期）

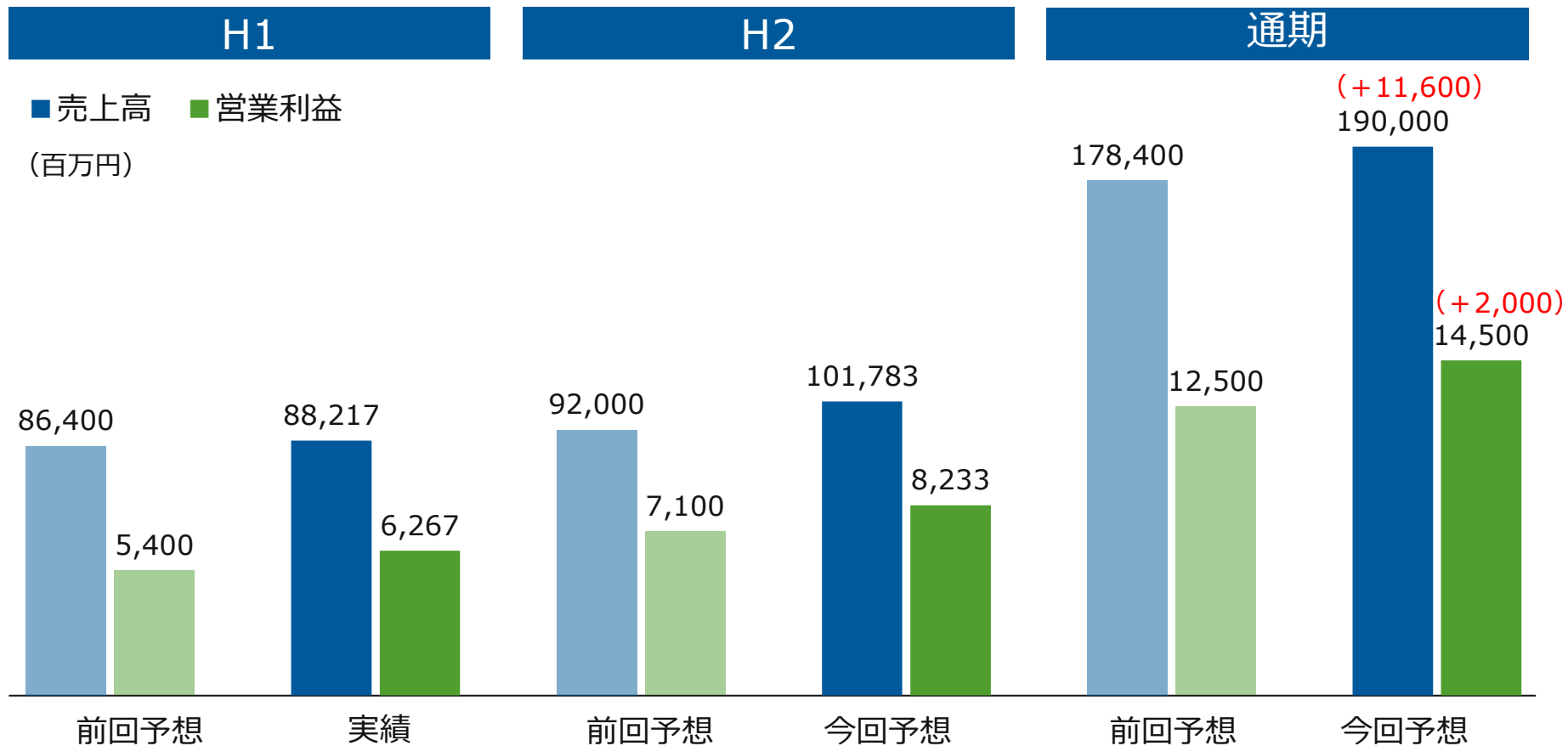


H1→H2 需要トレンド

事業	製品	主な市場	H1 → H2 トレンド	
産業資材	加飾	モビリティ		供給制約の影響から需要回復
		家電		H1の旺盛な需要は一服
	サステナブル資材 (蒸着紙)	飲料ラベル・食料品 ・パッケージ向け		堅調な需要が継続 値上げによる売上高増加
デバイス	フィルムタッチ センサー	タブレット		力強い需要見通し 供給制約によりH1から後ろ倒し
		スマートフォン		既存モデルは緩やかに減少（想定通り）
	産業用端末 モビリティ ガスセンサーなど		産業用端末の堅調な需要が継続 モビリティ向けの拡大 ガスセンサーの需要増加	
メディカル テクノロジー	医療機器	医療機器		CDMOを中心に需要増加

業績予想の変更 上方修正

- H1: 実績は前回予想を上振れ
- H2: 需要増加、製品値上げ、コスト増、想定為替レートの見通しを反映
 - 為替影響：売上高+34億円、営業利益+4.5億円



業績予想の変更 上方修正

(百万円)

	前回予想 (5/12発表)			今回予想 (8/8発表)		
	FY2022 通期 予想	FY2022 H1 予想	FY2022 H2 予想	FY2022 通期 予想	FY2022 H1 実績	FY2022 H2 予想
売上高	178,400	86,400	92,000	190,000	88,217	101,783
産業資材	64,700	32,700	32,000	73,000	36,169	✓ 36,831
デバイス	77,700	36,100	41,600	78,000	33,590	✓ 44,410
メディカルテクノロジー	28,000	13,700	14,300	31,000	14,610	✓ 16,390
その他	8,000	3,900	4,100	8,000	3,846	4,154
営業利益	12,500	5,400	7,100	14,500	6,267	8,233
営業利益率	7.0%	6.3%	7.7%	7.6%	7.1%	8.1%
産業資材	5,800	2,900	2,900	6,800	3,393	✓ 3,407
デバイス	8,700	3,600	5,100	9,600	3,720	✓ 5,880
メディカルテクノロジー	1,100	300	800	600	0	600
その他	▲ 3,100	▲ 1,400	▲ 1,700	▲ 2,500	▲ 846	▲ 1,654
税引前利益	13,300	6,500	6,800	17,500	9,549	7,951
親会社の所有者に帰属する 当期 (四半期) 利益	10,000	5,200	4,800	13,500	7,903	5,597
為替レート	¥113/\$	¥113/\$	¥113/\$	¥122/\$	¥118/\$	¥125/\$

サステナビリティへの取り組み

TCFD提言に基づく情報開示



● シナリオ分析を実施

- 「1.5℃シナリオ」「3℃シナリオ」
- 今回はデバイス事業に限定して分析

● 分析結果

- いずれのシナリオにおいても、財務リスクはあるものの、当社はリスク対応策を講じており、その対応策には妥当性があることを確認
- 事業機会につながりうる需要の高まりを確認

【特に影響が大きいリスクと機会】

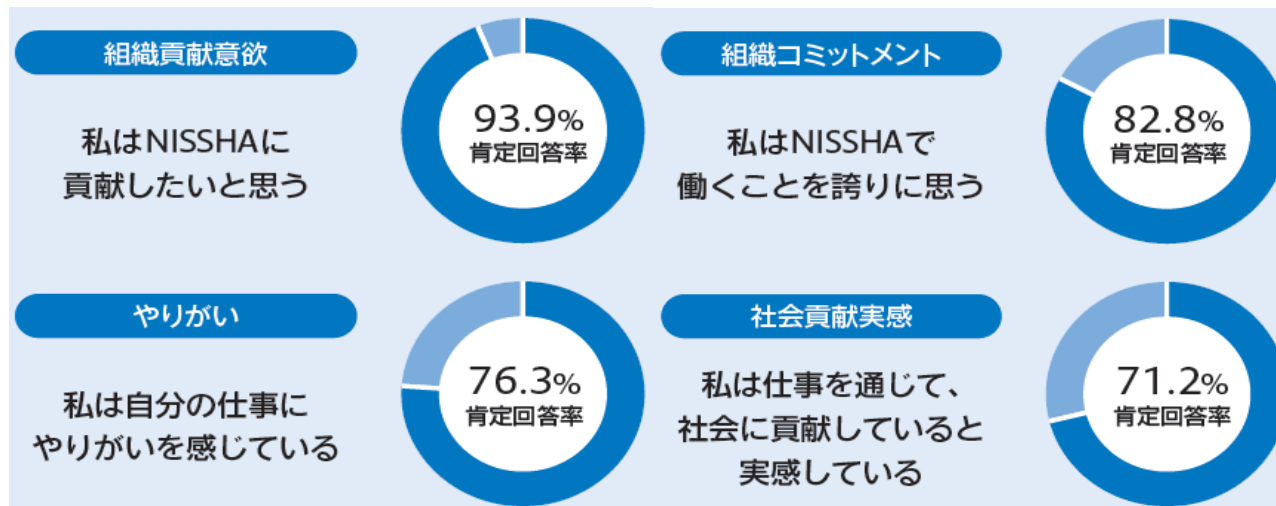
区分	当社のリスク	対応策
移行 リスク	● 炭素税の導入・強化による生産拠点の使用エネルギーと原材料の調達コストの増大	<ul style="list-style-type: none"> ● 電力消費の削減（生産の効率化、省エネ） ● 再生可能電力への段階的な転換
	● お客さまからのCO2削減要請に対応できなかった場合の事業機会の損失	
物理 リスク	● 浸水による建物・設備・在庫等、自社資産の毀損によるコスト増加	● 事業継続計画（BCP）の実効性の検証および改善

当社の機会

- EVの市場拡大による車載向け製品の売上高増加
- 温室効果ガス削減に寄与する製品の需要増大により、冷媒検知用ガスセンサーモジュールの販売機会が拡大

社員のエンゲージメントサーベイ

- 回答率 87.9%（国内NISSHAグループ）
- 2022H2には海外グループ会社に展開
- 結果に対する要因分析を実施、事業や職場単位で具体的なアクションを設定



※ 肯定回答率：設問に対する肯定的回答者の割合

Nissha Report 2022（統合報告書） ／NISSHAサステナビリティレポート2022 を発行



Nissha Report 2022（統合報告書）



NISSHAサステナビリティレポート2022

- CEOメッセージを核に編集
NISSHAグループならではの強みを活かした
価値創造の考え方を示す
- 非財務情報の詳細を網羅的に掲載
- TCFD提言に基づいた分析結果を記載

(参考) ESGに対する当社の外部評価

● CDP

- 気候変動レポート2021において「B」評価



● FTSE Blossom Japan Index

- 2年連続で選定



FTSE Blossom
Japan

● FTSE Blossom Japan Sector Relative Index



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

● S&P/JPX Carbon Efficient Index

- 2022年3月時点



● SOMPO サステナビリティ・インデックス

- 2012年より連続



Sompo Sustainability Index

● 健康経営優良法人

- ホワイト500



2022
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

● プラチナくるみん認定

- 2019年認定



ご参考：設備投資・減価償却費及び償却費・ M&A投資・研究開発費

(百万円)

	第1四半期 実績	第2四半期 実績
設備投資	1,784	2,214
減価償却費 及び償却費	2,280	2,370
M&A投資	-	151
研究開発費	842	1,049

本プレゼンテーションに掲載されている情報および決算説明会・カンファレンスで提供される情報のうち業績の目標、計画、見通し、戦略、その他過去の事実ではない情報については、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含みます。実際の業績は、経済動向、市場需要、為替の変動などのさまざまな要因によって大きく変わる可能性があります。